

## 森林総合教育センター（<sup>もりのす</sup>morinos）の概要

「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向け、「すべての人と森をつなぎ、森と暮らす楽しさと森林文化の豊かさを次世代に伝えていく」をコンセプトに、森林に親しみ、森林とのつながりを体験できる森林教育の総合拠点。

### （1）施設概要

- 構造：木造平屋建て（延床面積：約129㎡）  
木材使用量 約94m<sup>3</sup>（県産材100%使用）
- 建物構成：交流スペース：森林教育プログラムを体験できるスペース  
企画展示スペース：森林に関する情報の展示スペース  
図書閲覧スペース：森林に関する図書を自由に閲覧できるスペース

### （2）休館日

火曜日、水曜日（休館日が祝日の場合はその翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

### （3）利用料金

一部の森林教育プログラムについては、利用料金を徴収

### （4）施設の特徴

- ・施設の象徴として、建物正面にアカデミー演習林から伐採した桧丸太の柱を「V字形」に配置する特徴的なデザインを採用
- ・当森林文化アカデミーの学生の計画案を基に、建築家の隈研吾氏から指導・助言をいただき建設した。
- ・本学の客員教授でもある、岐阜県出身の著名な左官技能士・挾土秀平氏にシンボル壁の制作をしていただいた。
- ・バリアフリーにも配慮し、木の良さを感じられる居心地の良い空間を提供

### （5）活動内容

- ・教育機関等と連携した森林教育プログラムの開発と実施
- ・森林教育の指導者や民間団体の育成
- ・幼児から大人まで幅広い世代を対象とした森林教育プログラムの実施

### （6）外観

